

## 全窒素・全りん／COD自動測定装置 NPW-400

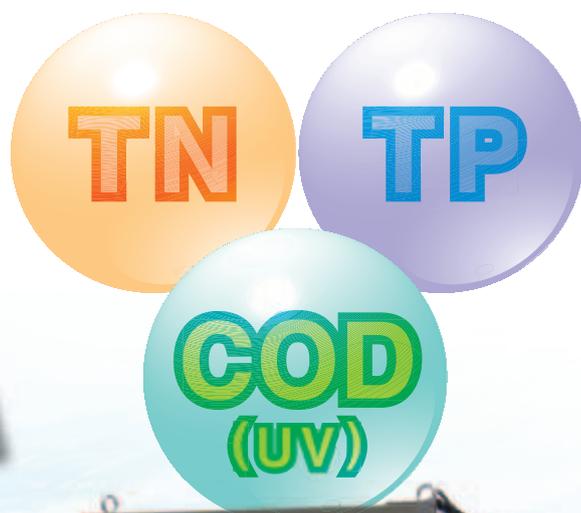
省試薬

指定計測法に比べ94%低減  
(全窒素・全りん)

環境への負荷を少なく

メンテナンスが楽に

低ランニングコスト



# 基本性能はそのままに さらなる省試薬化を実現し 環境負荷にも配慮した最新機種です。

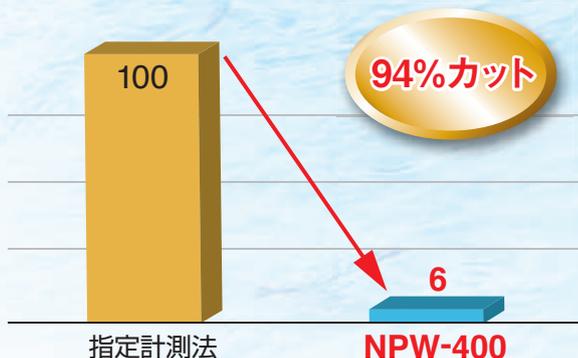
NPW-400は、水質総量規制で求められる自動計測に対応しており、負荷量演算機能も内蔵しています。また、測定に使用する試薬量を当社従来機に比べて大幅に低減しており、測定に伴って生じる環境への負荷を少なくしました。水質総量規制対象地域以外でも、排水の自主的監視にご活用いただけます。

## 省試薬化を実現

指定計測法の約1/20の試料水で測定が可能となりました。試薬使用量も約1/20となります。

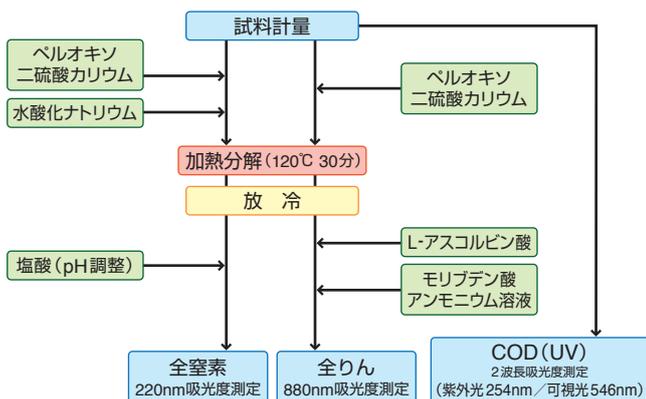
試薬交換や廃液処理周期が2ヶ月となり、メンテナンス工数の大幅な低減を実現しました。

廃液量は約7.5L/月で、計測のための環境負荷が低減できます。



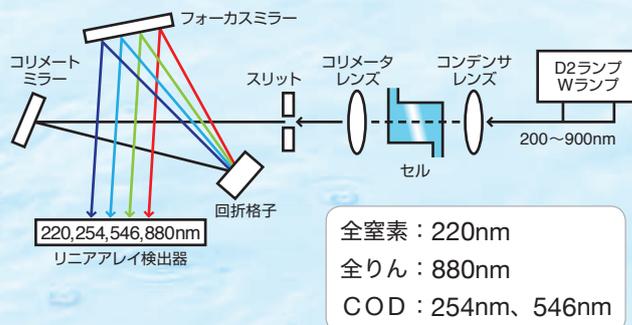
## オートクレーブ法を採用

指定計測法と同じ120°C 30分の加熱分解を採用。さまざまな試料水で指定計測法との良好な整合が得られます。



## 3項目同時測定

多波長検出器の採用により、ハードウェアを追加することなく、1台の光学系で全窒素・全りん・CODの3項目を測定できます。



## 汚れの影響を受けにくい 試料計量ユニット

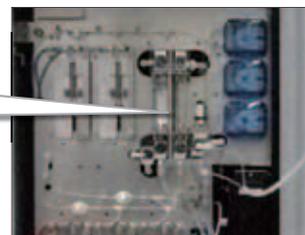
試料水や希釈水を計量するシリンジポンプは分析部の心臓部であり、高い精度が求められます。

試薬の使用量を削減するためには、少ない試料水を精度良く計量し、さらにその性能を維持することが必要となります。

当社の試料計量ユニットは、従来機で多くの実績を持つ方式を採用しています。

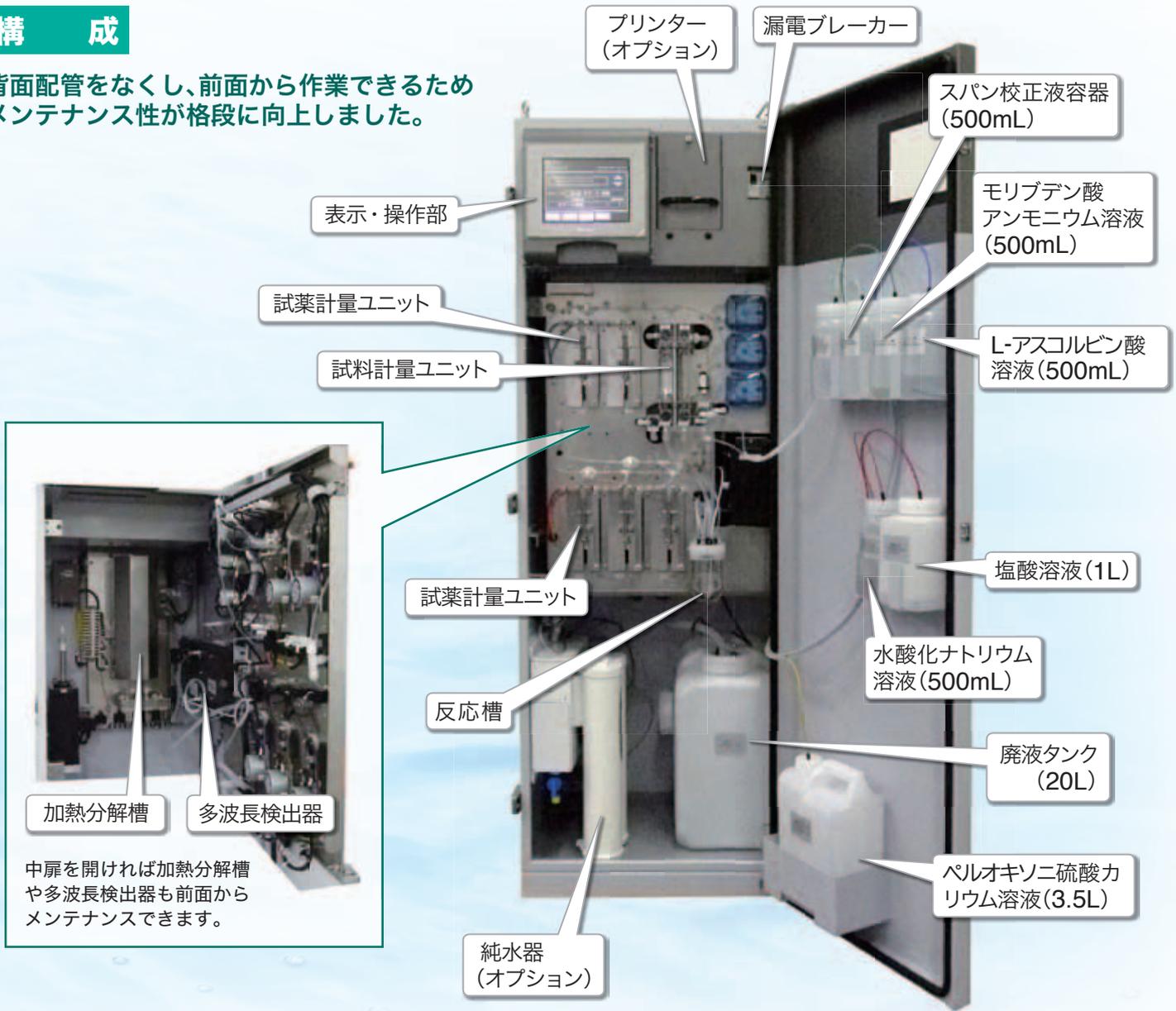
シリンジポンプに試料水が入らない構造となっており、汚れによる影響をほとんど受けないため、省試薬化を実現するとともに、メンテナンス性も向上しました。

試料計量  
ユニット



# 構 成

背面配管をなくし、前面から作業できるため  
メンテナンス性が格段に向上しました。



## 主な仕様

製品名	全窒素・全りん/COD自動測定装置
型名	NPW-400
測定対象	水中の全窒素、全りん、COD濃度
測定方式	全窒素；アルカリ性ペルオキシ二硫酸カリウム分解(120℃、30分) —紫外線吸光度法 全りん；ペルオキシ二硫酸カリウム分解(120℃、30分) —モリブデン青(アスコルビン酸)吸光度法 COD；2波長吸光度法(紫外光線254nm/可視光線546nm)
測定範囲	全窒素：0～2mg から0～200mg/L 全りん：0～0.5mg/L から0～20mg/L COD：0～0.5Abs から0～2Abs(吸光度として) ※セル長により選択範囲に制限があります。
測定周期	1測定/1時間(1日の測定スケジュールを1時間単位で任意設定可能)または外部スタート信号による測定開始
負荷演算機能	内蔵
本体データメモリー	測定値、流量値、負荷量値などを1ヶ月間分保存が可能 オプションのUSBメモリーで5年分保存が可能
アナログ入力	流量値 ; DC4～20mA 外部COD測定値; DC4～20mA
アナログ出力	測定値/各3項目 ; DC4～20mA 負荷量値/各3項目; DC4～20mA

周囲温・湿度	2～40℃、85%RH以下
試料水条件	温度；2～40℃ 圧力；0.02～0.05MPa、 流量；1～3L/min(約60mL/1測定)
試薬使用量	ペルオキシ二硫酸カリウム溶液；約3.4L/2ヶ月 水酸化ナトリウム溶液 ; 約0.5L/2ヶ月 塩酸溶液 ; 約0.6L/2ヶ月 モリブデン酸アンモニウム溶液；約0.5L/2ヶ月 L-アスコルビン酸溶液 ; 約0.5L/2ヶ月
廃液量	約7.5L/月
電源	AC100V±10%、50/60Hz
消費電力	約500VA(最大)、約150W(平均)
外形寸法	500(W)×450(D)×1500(H)mm(受水槽などの突起物を除く)
質量	約95kg(試薬を除く)

オプション	純水器、プリンター、USBメモリー、調整槽、扉施錠機構 通信機能；RS-485またはRS-232C
-------	--

## ユーティリティ

水道水条件	オプションの純水器内蔵の時に必要 温度；2～40℃/圧力；0.1～0.35MPa
-------	---

詳細仕様は、個別のスペックシートをご参照ください。当社ホームページからダウンロードできます。

<http://www.toadkk.co.jp/>

## COD自動測定装置 CODR-400

- 当社従来比 95%の省試薬を実現しました。環境負荷にも配慮した最新機種です。
- 試薬交換・廃液処理は1ヶ月に1回となりました。
- 「酸性法」と「アルカリ性法」の選択が可能です。
- 双白金電極の採用で、比較電極内部液の保守が不要になりました。
- しゅう酸洗浄機能を標準搭載しています。



## COD自動測定装置 COD-203A

- JIS K 0806「化学的酸素要求量(COD)自動計測器」に基づいた測定方式(試料量100mL)を採用しました。
- 試薬交換・廃液処理は2週間に1回です。
- 「酸性法」と「アルカリ性法」の選択が可能です。
- しゅう酸洗浄機能を標準搭載しています。



## 有機汚濁モニター UV計 OPM-1610

- 試料水中に直接浸漬させるタイプのUV計です。
- 従来機に比べ、容積50%、質量20%の小型化軽量化を実現しました。
- 受水槽と組み合わせで採水式としても使用可能です。
- 光量の安定化に新方式を採用し、消費電力を当社従来機に比べ約80%削減しました。



## 全窒素自動測定装置 TNC-250

- 試薬を必要としない接触熱分解/化学発光法を採用しました。
- 海水試料にも適応可能です。
- 自動洗浄、手動洗浄機能が充実しています。



## 負荷量演算器 CALD-2030

- 1流路3分析計から、3流路9分析計まで対応できます。
- 表示器は、タッチパネル方式で簡単操作。トレンド、バーグラフ、デジタルなど多彩な表示が可能です。
- 本体に約5~10年分のデータを保存できます。
- USBメモリーでデータの取り出しが可能です。



## 簡易全窒素・全りん測定セット HACH9010

- 吸光光度計DR 900とリアクターDRB 200のセット商品です。
- 排水の自主管理や自動計測器のクロスチェック用に最適です。
- 全窒素・全りん測定試薬を標準添付。分析プログラムも機器にインストール済みのためすぐに測定いただけます。
- COD測定用の試薬も別途ご用意しています。

